

食品に関するリスクコミュニケーション 「これまでを知り、これからを考える」 ～食品中の放射性物質～



東日本大震災発生における東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故を受け、食品中の放射性物質の基準値が設定され、これに基づき、出荷制限等が行われてきました。震災から8年以上が経過し、関係者による低減対策等により、現在では、基準値を超える食品はほとんど検出されなくなりました。一方で、震災直後と比べ報道等を通じ関連情報を得る機会が減り、現状を知らずに不安を抱える方もいらっしゃいます。

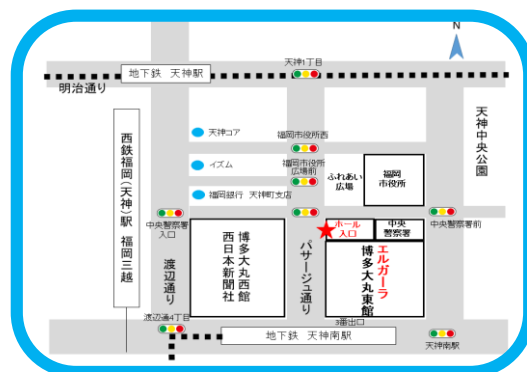
そこで、この意見交換会では、「これまでを知り、これからを考える」をテーマに、放射性物質の基礎知識や流通している食品中の放射性物質の現状について、専門家・行政からの情報提供を行った後、生産者、事業者等の関係者と共に、消費者の皆様が普段の生活の中で抱えている疑問や不安について意見交換を行います。

日時 11月8日(金) 13:30～16:30 受付開始時間13:00～

会場 エルガーラホール 7階 中ホール
福岡県福岡市中央区天神1丁目4番地2号

アクセス 天神駅 徒歩約5分
地下鉄空港線 13番出口

定員 100名 ※お申込み多数の場合、抽選とさせていただきます。



参加費 無料

◆保育ルームをご用意しています◆

ご希望の方は11月1日(金)12:00までにお申し込みいただき、その旨お書き添えください。改めて事務局からご連絡いたします。

プログラム

- (1) 開会
開会挨拶
- (2) 基調講演
「放射線の基礎知識と食品中の放射性物質」 (仮題)

- (3) 行政担当による情報提供
「食品中の放射性物質の対策と現状」

- (4) 意見交換

コーディネーター：サイエンスコミュニケーター すずき まどか 氏

パネリスト：学識経験者、生産者、事業者、消費者

質疑対応：消費者庁、内閣府食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省

申込締切：令和元年 11月 1日(金) 必着

【主催】消費者庁 内閣府食品安全委員会 厚生労働省 農林水産省

【共催】福岡県、福岡市

※お問合せ・お申込み方法は、裏面をご覧ください。

